

山田寺跡(やまだでらあと)

校区(こうく)の西にあり、大化改新(たいかのかいしん)に天智天皇側(てんじてんのうがわ)について、蘇我氏(そがし)を滅(ほろ)ぼした蘇我倉山田石川麻呂(そがのくらのやまだのいしかわまる)が641年に建(た)て始めた(た)とされている寺(てら)です。しかし、石川麻呂は、反乱(はんらん)すると疑(うたが)われて、この寺(てら)で自害(じがい)しました。その後、疑(うたが)いは晴(は)れ、寺(てら)は作(つく)られ続(つづ)けて649年に完成(かんせい)しました。



山田寺跡の説明



山田寺跡の入口



山田寺跡